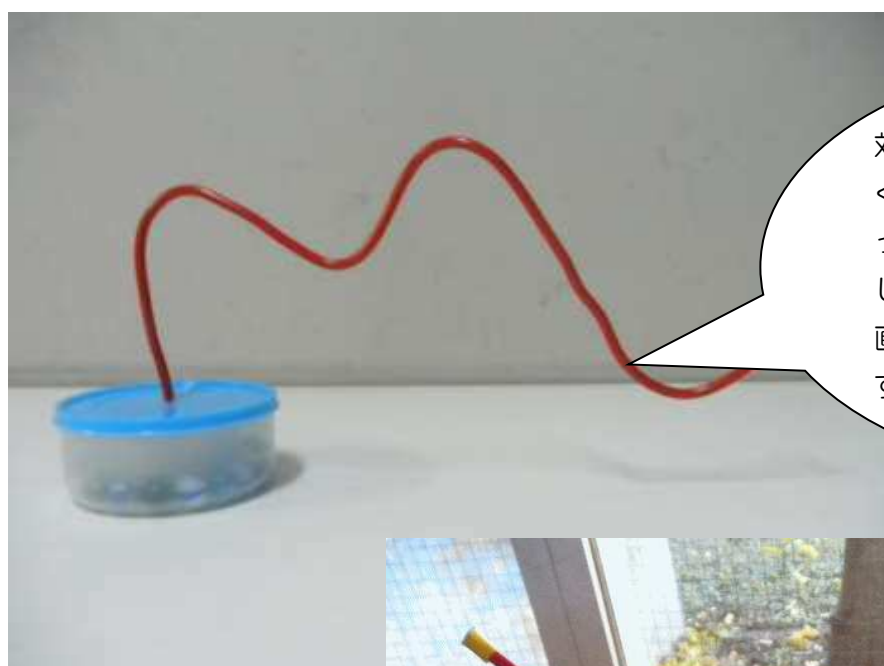


|         |   |
|---------|---|
| 教材教具名   | 山あり谷あり  |
| 制作者     | (小学部)   |
| 使用材料    | 針金(自遊自在)、紙粘土、タッパー、ビー玉、ビニールテープ   |
| 使用目的・方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・針金にリングを通す。</li> <li>・リングを握ったまま、手首の動きを促す。</li> </ul> |
| 使用しての感想 | ・児童のねらい・目的に応じて、山部分、谷部分の深さ、先端の角度を考慮する必要があると感じました。  |



対象児童は谷部分が浅いと、勢い良くリングを通すだけで、終点まで行ってしまったため、深めの谷で行いました。先端の角度も、机に対して垂直気味のほうが1人でリングを通すことができました。

